

令和3年度 予算要望書

自由民主党豊橋市議団

令和3年度予算編成に向けて

浅井由崇市長ご就任おめでとうございます。今後の4年間、現世代、将来世代のあらゆる市民の暮らしをしっかりと守り、持続可能なまちづくりを進めていただくことを期待申し上げます。

さて今、世界はコロナ禍の渦中にあり、感染拡大の防止と疲弊した経済の復活という相反する課題の克服に向け、各国政府は必死の対応に追われています。このことは本市においても全く同様の状況にあります。さらに本市では令和2年度で第5次総合計画の目標年次を終え新たな10年を迎えることとなります。人口減少に伴う税収の減少が危惧される一方、子育て支援や高齢者福祉の充実のための行政コスト増加により財政が厳しさを一層増す中、気候変動に伴う災害の激甚化や農作物への影響、新たな感染症拡大の恐れなどに対する備えの充実もしっかり進めていかなければなりません。

令和2年は、本市における新型コロナウイルスの大規模な感染拡大は発生しなかったものの、予防のため各種行事が中止になるなど大きな影響を受けました。市民の生活様式も大きく変わったことで負の影響を受けた事業者も多く、教育現場でも様々な課題に直面しました。令和3年度は税収が大幅に減少することが予想される中で、長期的視点を持ちつつこれらの問題に対応していかなければなりません。

そこで今回、自由民主党豊橋市議団として10年後の豊橋のあるべき姿を見据える中で、令和3年度予算要望書を作成いたしました。重点要望事項としては、「新型コロナウイルス感染症の影響で経営がひっ迫する事業者等へ経営支援策の拡充」「持続可能な財政基盤の確立に向けた次期行財政改革プランの策定」「『スポーツ』『まちづくり』『防災活動の拠点』に寄与できる多目的屋内施設の早急な整備計画の策定」「豊橋・田原ごみ処理広域化計画の推進並びに計画に伴う資源化センター施設整備事業の推進」「Society5.0への積極的適応」「豊橋駅西口及び東口周辺施設の再開発事業の更なる推進」を、また、常任委員会毎に分野別要望事項をとりまとめ要望書を作成いたしましたので、提出させていただきます。

つきましては、浅井市長におかれては令和3年度の予算編成にあたり、自由民主党豊橋市議団の予算要望につきその趣旨を十分お汲み取りいただき、しっかり取り入れていただくことを強く要望いたします。

令和2年12月18日

自由民主党豊橋市議団

団長 豊田 一雄

重点要望事項

1. 新型コロナウイルス感染症の影響で経営がひっ迫する事業者等（医療・介護機関含む）へ経営支援策の拡充
2. 持続可能な財政基盤の確立に向けた次期行財政改革プランの策定（目標値は財務諸表の数値に連動するものとする）
3. 「スポーツ」「まちづくり」「防災活動の拠点」に寄与できる多目的屋内施設の早急な整備計画の策定
4. 豊橋・田原ごみ処理広域化計画の推進並びに計画に伴う資源化センター施設整備事業の推進
5. Society5.0 への積極的適応（IoT活用推進支援策の充実・IoT関連産業クラスター形成支援）
6. 豊橋駅西口及び東口周辺施設の再開発事業の更なる推進

各常任委員会ごとの要望事項

【総務委員会関係】

I. 豊橋市公共施設等老朽化対策

1. 公共施設の更新費用の平準化と地域コミュニティの維持を踏まえた個別実施計画の早期策定と着実な実施

II. 地域活動の担い手の確保

1. 自治会や消防団など未来につながる地域活動の支援の仕組の構築

III. 行財政改革の推進

1. 中長期財政計画
2. 内部統制制度を周知・徹底し職員のレベルアップを図りミスや事故を削減する
3. 業務効率化と事務誤り（人為的ミス）防止のため、RPAやAI技術の積極的導入

IV. 文化・交流事業の推進

1. 地域コミュニティの文化活動を推進するための補助制度の創設

V. スポーツ・交流事業の推進

1. 屋内外スポーツ施設の着実な整備の実施

VI. 防災・減災・消防体制の強化

1. 情報通信環境の早期整備着手
2. 市民への情報発信のワンオペレーション化

VII. その他

1. 快適なまちづくり条例の強化を踏まえたまちづくりの推進
2. 市が事務局を担う実行委員会への補助金の見直し
3. 地域コミュニティ維持を目的とした活動・団体への支援
4. NHK朝の連続テレビ小説「エール」に頼らない豊橋のまちの活性化
5. 市たばこ税の活用

(令和2年1月23日付 事務連絡 総務省自治税務局 令和2年度地方税制改正・地方税務行政の運営に当たっての留意事項等についてのたばこ税の見直しに関連しの部分)

【環境経済委員会関係】

I. 豊橋市の活力（経済力）強化

1. 企業誘致のための優遇施策の拡充
2. 生産年齢人口の減少を補う施策の推進
 - ・首都圏からの移住者に対する優遇措置の拡充
 - ・女性の活躍、雇用、人材育成推進
 - ・高齢者、障害者、外国人等の就労支援拡充
 - ・生産性向上に向けた設備投資への支援

II. 総合的な産業振興の推進

1. 観光都市豊橋の実現
 - ・地産品、地形、気候、利便性を活かした新たな豊橋ブランドの創出支援
 - ・ロケ誘致の更なる活性化による観光PRの推進
 - ・東三河周辺観光資源と本市観光資源とのコラボレーション推進
 - ・サイクルツーリズムの推進

III. 三河港の総合的な事業の促進

1. 臨港道路の整備促進
2. コンテナ航路の拡充に向けた取組の推進
3. 港湾技能研修センター跡地の有効利用

IV. 農業振興の強化

1. 農業の生産性向上のため、施設の更新・改修補助金制度の拡充
2. 農福連携推進の補助制度創設

V. 総合的な廃棄物対策の推進

1. 不法投棄防止策の推進
2. 廃棄物処理業者に対する指導、監視体制の充実

VI. 自然環境保全対策の推進

1. 森林資源の保全ならびに活用と、間伐材の利用方法研究支援
2. マイクロプラスチックの削減に向けた運動の推進

【福祉教育委員会関係】

I. 学校教育について

1. ICTを活用した教育の推進ならびに GIGA スクール事業の実施
2. 小学校教科担任制の導入拡充並びに検証
3. いじめ・不登校対策として、外部との連携も視野にいたした指導・相談体制の強化
4. イマージョン教育における外部との連携ならびに検証
5. コロナ禍における感染拡大予防対策の充実並びに教育時間の確保

II. 教育におけるその他の諸課題について

1. トヨッキースクール、地域未来塾ステップ、のびるん de スクール等の推進並びに検証
2. 少年自然の家、野外教育センター施設の再整備
3. 地区・校区市民館の組織の統一による運営体制の強化

III. 東三河の拠点病院としての機能充実と整備及び経営健全化の推進

1. 市民病院改革プランに基づく医療体制の確保並びに健全経営の取り組み強化

IV. 子育て支援の推進

1. 学習支援事業など子どもの貧困問題に対する経済的支援
2. フードバンク・子ども食堂への金銭的・物的支援
3. 保育園の特別保育事業（特別支援保育、一時預かり）への助成拡大と指定園拡大
4. 保育士確保支援
5. 放課後の総合的な（障害児含む）児童対策の充実
（のびるん de スクールと児童クラブとの連携並びに検証）
6. 児童虐待防止のための相談体制の充実（児童相談所の早期設置）
7. こども発達センターの診療待機の解消

V. 健康増進策の強化

1. コロナ禍の生活不活発におけるフレイル対策の推進

VI. 高齢者・障害者福祉施策の充実

1. 認知症との共生と予防の推進
2. 障害者へ自立に向けた地域生活の基盤整備の推進

VII. その他の諸課題

1. 地域医療との連携強化（コロナ禍における支援含む）
2. 動物の愛護及び管理推進のための拠点施設整備の検討

【建設消防委員会関係】

I. 道路整備の推進

1. 都市計画道路（山田原線等）の整備推進
2. 生活道路の整備、維持・管理の充実と安全対策（通学路等）事業の予算拡充
3. 豊橋・新城スマートIC（仮称）へのアクセス道路及び周辺土地利用の推進
4. 狭あい道路の改善のための助成制度の創設

II. 河川整備の推進

1. 大雨浸水対策事業の強化

III. 市街地整備の推進

1. 公共交通結節点等の集約型まちづくりの整備推進
2. 立地適正化計画の推進
 - ・防災を踏まえたまちづくりの推進
 - ・居心地が良く歩きたくなるまちづくりの推進

IV. 空き家対策の推進

1. 空き家適正管理の指導（助言）の取り組み強化

V. 市営住宅整備の推進

1. 時代に則した住宅整備の拡充

VI. 公共交通等移動手段の推進

1. 路面電車活性化事業の推進

VII. 公園整備の推進

1. 公園・街路樹の適切な管理・整備費の拡充

VIII. 総合動植物公園の魅力UPの推進

1. 「のんほいパーク100万人プロジェクト」の推進
2. 老朽化した施設長寿命化の推進
3. SDGs達成に向けた活動の推進
4. 東三河ジオパーク構想の認定に向けた取り組みの強化

IX. 防災・消防体制の強化

1. 職員の増強と研修体制の充実による消防体制の強化
2. 消防団組織等の活性化と災害対応力の強化
3. 救急救命体制の充実
4. 火災予防対策の強化
5. 洪水ハザードマップの作成・周知

X. 上下水道事業の推進

1. 健全経営に向けた戦略的な上下水道事業の推進
2. 地域下水道事業の再整備推進
3. 公共下水道拡張事業の推進
4. 公共下水道再整備事業の推進
5. 合流式下水道施設整備、水道管整備事業の推進

国への要望事項

◎は重点要望項目

I. 重要道路の建設整備促進

1. 幹線道路の建設整備推進

- ◎浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現
- ◎名豊道路の早期開通と4車線化の整備促進
- ◎東名高速道路の豊橋・新城スマートIC(仮称)の早期実現
- ◎臨港道路東三河臨海線の整備促進
 - ・道路の整備に必要な国県補助事業費等の拡充

II. 河川の整備促進

- ◎豊川堤防の強化に向けた調査の推進・霞堤対策の推進

III. 保育環境の充実

- ・保育サービス充実に向けた保育士確保と処遇改善の推進

I. 重要道路の建設整備促進

◎東三河環状線の整備促進

- ・国道 259 号の渋滞解消及び国道 259 号植田バイパスの 4 車線化の整備促進

◎23 号バイパス前芝 IC から東名高速豊川 IC への主要交差点の高架化

◎東名高速道路の豊橋・新城スマート IC(仮称)への周辺アクセス道路の整備推進

◎臨港道路東三河臨海線の整備促進

- ・国道 151 号の宮下交差点等の立体化の早期実現

◎三河港臨海部周辺道路、豊橋湖西線(二川バイパス)、豊橋乗本線、県道伊古部南栄線等の主要道路の渋滞解消

- ・県道の整備促進(豊橋環状線、小松原街道線)
- ・県道の東七根藤並線の緊急輸送道路としての位置づけ及び整備推進
- ・緊急搬送道路の橋梁耐震化の促進

II. 三河港の整備・利用促進

1. 岸壁及びふ頭用地等の整備推進

- ・手狭となったモータープールの拡充
- ・神野西地区ふ頭用地の早期完成
- ・神野西ふ頭 8 号岸壁第 2 バースの早期実現
- ・神野北防波堤の早期整備

2. 地震・津波対策の強化

- ・三河港海岸高潮堤防の液状化対策の早期整備

3. 三河港の利用推進

- ・三河港の利用促進策の積極的な展開(ポートセールス・使用料減免など)

III. 河川の整備促進

◎災害の危惧される 2 級河川(梅田川、柳生川)の河川整備早期実施

- ・河川の土砂浚渫等、適正管理による洪水対策の早期実施